

阿弥陀の願いが私に届いた恩に報いる

徳とく泉く寺ほ報う

No. 7 2

発行

令和5年10月

発行元 徳 泉 寺

仙台市宮城野区

榴岡 3-10-3

(022)297-4248

[tokusenji.send](mailto:tokusenji.sendai@gmail.com)

ai@gmail.com



ホームページ

[tokusenji-](http://tokusenji-sendai.com)

sendai.com



Instagram

[tokusenji.sendai](https://www.instagram.com/tokusenji.sendai)



TOKUSENJI.SENDAI

令和五年度 報恩講勤修

十月二十四日（火）徳泉寺において令和五年度の親鸞聖人ご命日法要「報恩講」が勤修されました。

今年は四年ぶりに市内複数のお寺のご住職にご出仕いただきました。ご門徒の方々の声と一緒に本堂いっばいに勤行の音が響き渡って、今年もこの日を無事に迎えられたことを実感して手を合わせました。

ご法話は、長年住職が懇意にさせていただいている先輩で元東北別院輪番の清谷真澄氏でした。テーマは「マインドコントロールと宗教」。マインドコントロールとは何か、本当の宗教の役割とは何か、気さくに語り掛けるような口調でお話しいただいて、自分のこととして受け止めることができました。

報恩講は真宗門徒にとってお正月だと言われます。普段なかなかお会いできない方が久しぶりにお参りくださって嬉しい気持ちになり、また準備から片付けまで親身になって、自分のこととしてご尽力くださる多くの方の善意をいただいて、あたたかいご縁に囲まれていることに涙の溢れるような思いがいたしました。裏面に当日と前日の写真を掲載しました。どうぞご覧ください。

これを区切りとして、また一年、丁寧に仏の教えに向き合いたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

講師法話 「マインドコントロールと宗教」

清谷 真澄 氏

（岩手県北上市通来寺住職）

旧統一教会、オウム真理教、イスラム原理主義などが日本社会に大きく投げかけている問題があります。そのなかで、マインドコントロールについて、今日は考えてみたいと思います。

例えば、100万円の壺を買うと幸せになるよ、と言われてほとんど人は（そんなばかな）と思いますがそれでも買う人がいます。じゃあその人と1000円のお守りを買う人で心に違いはあるのでしょうか。それを求める気持ちは同じ質のものを持っているのではないかと思うのです。

マインドコントロールは誰もが簡単に掛かります。その要因は二つ、信頼の原則と、情報のコントロールです。そもそも私たちは生まれてから教育、常識、環境、経験、習慣などによって形作られています。これは全てマインドコントロールだと言えなくもないのです。

では宗教とはマインドコントロールされることなのか。本当の宗教の役割とはそういうものではありません。善導大師は「経教はこれを喩うるに鏡のごとし」とおっしゃっていますが、宗教とは鏡のように、見えない自分を見るためのものです。マインドコントロールされている自分、お守りが必要だと感じる自分とは何者なのか。それを生きているうえでちゃんとあきらかにしなければならぬ。そのための鏡が本当は宗教の役割だと言えます。宗教は危ういと言われている今だからこそ、このことを忘れてはいけません。

